

日仏政治研究

第3号

フランス大統領選挙特集の部

- 「2007年大統領選挙 —社会党の敗北とロワイアルの勝利?」 北海道大学 准教授 吉田 徹
「2007年フランス大統領選挙の分析 —サルコジ大統領の勝因と政策」 東京外国语大学 教授 渡邊 啓貴
「ルペン、最後の闇いと挫折 —2007年大統領選挙をめぐって」 佐賀大学経済学部 畑山 敏夫

研究論文の部

- 「ドゴール共和国の終焉 一大統領絶対制の見直から
 動員政治からの脱却へ向けて」 法政大学経済学部 教授 長部 重康
「フランスの民営化政策とディリジスムの変容 一ルノーの民営化過程に見る国有化モデルの崩壊—」
 筑波大学大学院 人文社会科学研究科博士後期課程 浅野 康子
「フランスの対EU政策 —金融・財政政策におけるフランスの干渉主義とその限界—」
 JP モルガン・アセット・マネジメント株式会社 ファンドサービス室長 松本 達也
「積極的差別」は「共同体主義」か
 —「雇用のコルシカ化」をめぐって 横浜国立大学 准教授 長谷川秀樹
「異論を呼んだ非植民地化に終止符を打つために
 — フランス法と国際法におけるインド洋フランス領 îles Éparses の
 法的地位の正常化に向けて」 南山大学 准教授 クーロン・ダヴィッド

書評

- 「ジョルジュ・ビュルドーとはどのような政治理論家であったか」
 櫻井陽二著『ビュルドーの政治理論—フランス正統派政治学理論の研究—』
 (芦書房、2007/2、358ページ<事項索引を含む>) に寄せて 日仏政治学会会員 中谷 猛
「渡邊啓貴著『ポスト帝国 —二つの普遍主義の衝突』」
 (駿河台出版社、2006年、399頁) 神戸大学 准教授 坂井 一成
日仏政治学会規約
『日仏政治研究』規約
『日仏政治研究』投稿規程
編集後記 明治大学 教授 櫻井 陽二

2007年10月1日
日仏政治学会 編